

平成20年度

決算の概要

姫路市

目 次

1. 一般会計	1
ア 対前年度比較(総括)	1
イ 構成比	2
ウ 対予算比較(款別)	3
2. 特別会計	5
3. 企業会計	6
4. 基金・地方債	7
5. 財政健全化指標	8
6. 普通会計財政分析表	9

1 一般会計

姫路市の平成20年度決算は、各種事業を着実に推進した結果一般会計の歳入が[※]2,064億2,527万円、歳出が1,955億6,959万3千円で、形式収支は108億5,567万7千円、ここから翌年度への繰越財源 55億6,906万2千円を差し引いた実質収支は 52億8,661万5千円となり、昭和43年度以来41年連続の黒字となった。

(単位 千円)

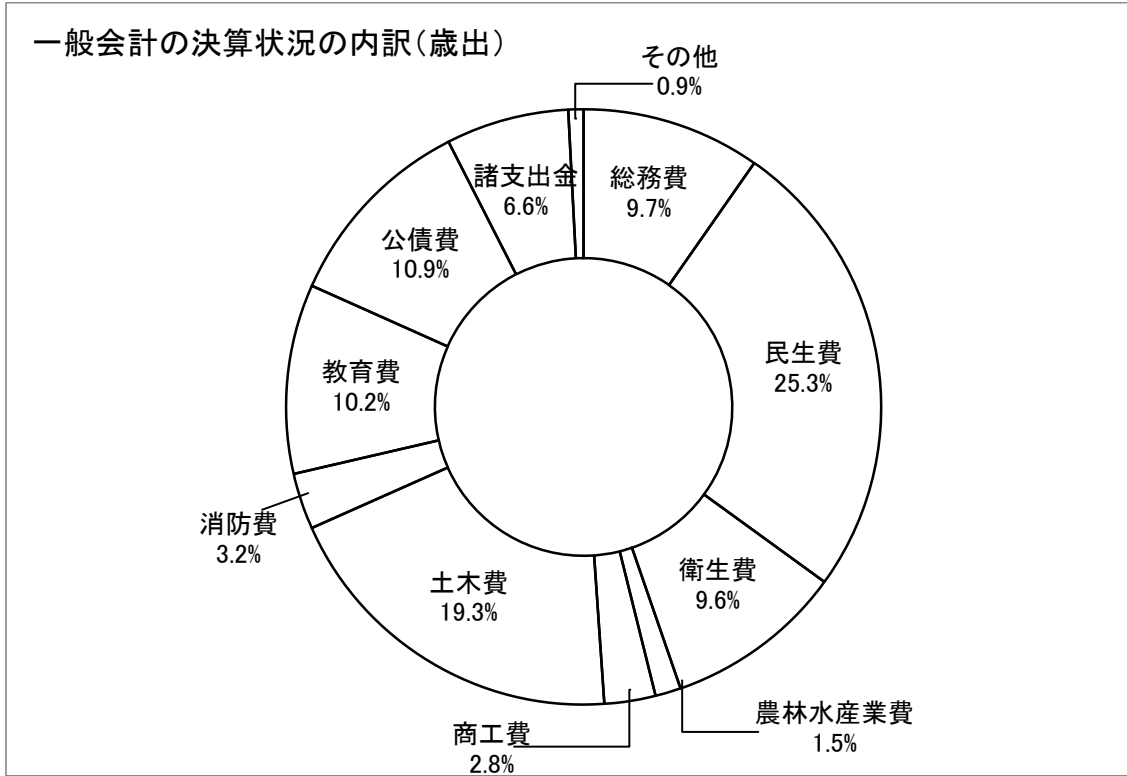
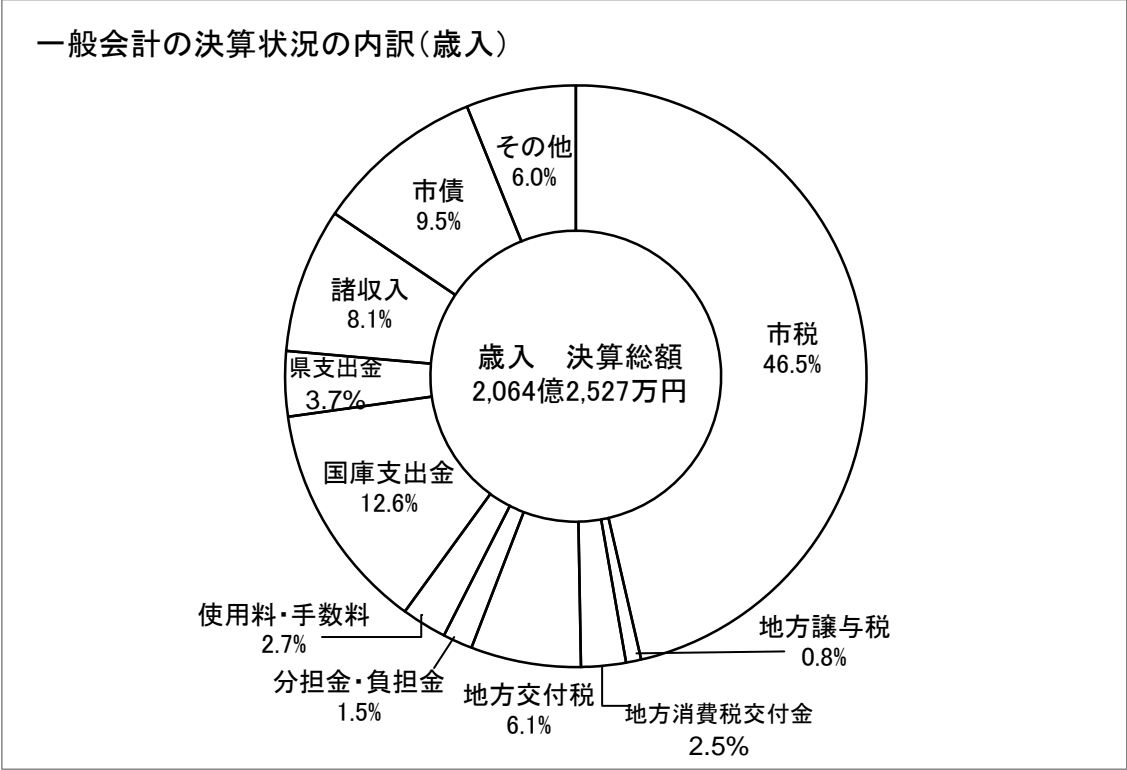
区分	歳入決算額	歳出決算額	形式収支	繰越財源	実質収支
一般会計	206,425,270	195,569,593	10,855,677	5,569,062	5,286,615

ア 対前年度比較 (総括)

(単位 百万円、%)

事項	20		19		比較	
	決算額	執行率	決算額 F	執行率	金額 G	増減率 G/F
歳入 A	206,426	87.9	200,538	92.5	5,888	2.9
歳出 B	195,570	83.3	192,303	88.7	3,267	1.7
形式収支(A-B) C	10,856	/	8,235	/	2,621	31.8
繰越財源 D	5,570	/	2,503	/	3,067	122.5
実質収支(C-D) E	5,286	/	5,732	/	△ 446	△ 7.8
翌年度への繰越額	25,875	94.3	10,524	93.5	15,351	145.9

イ 構成比



ウ 対予算比較（款別）

（歳入）

（単位 千円、％）

款名	予算現額	調定額	決算額	不納欠損額	収入未済額	執行率
市税	97,100,000	101,888,840	95,916,066	350,861	5,621,913	98.8
地方譲与税	1,730,000	1,691,368	1,691,368			97.8
利子割交付金	430,000	367,956	367,956			85.6
配当割交付金	530,000	194,335	194,335			36.7
株式等譲渡所得割交付金	330,000	67,029	67,029			20.3
地方消費税交付金	5,200,000	5,073,629	5,073,629			97.6
ゴルフ場利用税交付金	90,000	94,331	94,331			104.8
自動車取得税交付金	1,000,000	1,012,570	1,012,570			101.3
国有提供施設等 所在市助成交付金	7,144	7,354	7,354			102.9
地方特例交付金	960,000	1,126,551	1,126,551			117.3
地方交付税	9,700,000	12,491,112	12,491,112			128.8
交通安全対策特別交付金	126,000	124,487	124,487			98.8
分担金・負担金	3,329,840	3,158,138	3,085,108	9,973	63,057	92.7
使用料・手数料	6,032,922	5,757,528	5,629,284	1,416	126,828	93.3
国庫支出金	38,115,916	37,241,650	26,082,769		11,158,881	68.4
県支出金	8,227,863	7,772,677	7,693,883		78,794	93.5
財産収入	1,682,143	757,188	756,329		859	45.0
寄附金	255,344	175,673	175,673			68.8
繰入金	582,964	202,000	202,000			34.7
繰越金	7,234,975	8,234,975	8,234,975			113.8
諸収入	17,348,931	17,394,022	16,785,605	11,588	596,829	96.8
市債	34,784,200	19,612,856	19,612,856			56.4
合計	234,798,242	224,446,269	206,425,270	373,838	17,647,161	87.9

(歳出)

(単位 千円、%)

款名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	現年度執行率	繰越を含めた執行率
議会費	1,045,008	996,736		48,272	95.4	95.4
総務費	20,394,953	19,079,080		1,315,873	93.5	93.5
民生費	61,206,654	49,456,926	9,094,838	2,654,890	80.8	95.7
衛生費	31,556,367	18,794,243	11,643,076	1,119,048	59.6	96.5
労働費	872,833	857,045		15,788	98.2	98.2
農林水産業費	3,938,811	2,849,080	611,800	477,931	72.3	87.9
商工費	5,753,739	5,385,562		368,177	93.6	93.6
土木費	44,791,586	37,821,005	2,783,140	4,187,441	84.4	90.7
消防費	6,705,921	6,349,360	126,500	230,061	94.7	96.6
教育費	22,934,283	19,910,882	1,615,683	1,407,718	86.8	93.9
公債費	22,310,048	21,231,053		1,078,995	95.2	95.2
諸支出金	13,113,182	12,838,621		274,561	97.9	97.9
予備費	174,857			174,857		
合計	234,798,242	195,569,593	25,875,037	13,353,612	83.3	94.3

2 特別会計

平成20年度特別会計の決算について、14特別会計合計では、歳入が1,313億7,208万8千円、歳出が1,256億5,897万円で、形式収支57億1,311万8千円、翌年度への繰越財源525万7千円を差し引いた実質収支は57億786万1千円の黒字となった。会計別では、集落排水事業特別会計、老人保健医療事業特別会計及び駐車場事業特別会計で赤字決算となっている。

(単位 千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	形式収支	繰越財源	実質収支	不納欠損額	収入未済額	一般会計繰入金
中央卸売市場事業	1,024,977	900,466	124,511		124,511		4,140	345,095
下水道事業	36,316,999	36,311,742	5,257	5,257	0	26,021	1,190,836	13,646,080
水洗便所普及奨励事業	40,158	40,158	0		0	814	8,659	1,826
集落排水事業	754,059	773,076	△ 19,017		△ 19,017		6,023	455,349
食肉センター事業	134,474	130,958	3,516		3,516			85,690
母子・寡婦福祉資金貸付	70,486	51,148	19,338		19,338		40,263	4,692
国民健康事業勘定	54,808,885	50,175,633	4,633,252		4,633,252	734,699	2,494,012	3,501,628
保険事業 直営診療施設勘定	326,116	207,638	118,478		118,478			
介護保険事業	28,983,968	27,140,752	1,843,216		1,843,216	103,960	272,742	3,703,070
老人保健医療事業	3,846,193	3,933,486	△ 87,293		△ 87,293			277,578
後期高齢者医療事業	4,492,995	4,383,885	109,110		109,110		45,612	867,045
奨学学術振興事業	25,979	25,979	0		0			
財政健全化調整	91,205	91,118	87		87			
駐車場事業	450,190	1,487,527	△ 1,037,337		△ 1,037,337			270,045
土地取得	5,404	5,404	0		0			
合計	131,372,088	125,658,970	5,713,118	5,257	5,707,861	865,494	4,062,287	23,158,098

対前年度比較 (総括)

(単位 百万円、%)

事項	20		19		比較	
	決算額	執行率	決算額 F	執行率	金額 G	増減率 G/F
歳入 A	131,372	92.4	160,895	94.5	△ 29,523	△ 18.3
歳出 B	125,659	88.3	157,283	92.3	△ 31,624	△ 20.1
形式収支(A-B) C	5,713	/	3,612	/	2,101	58.2
繰越財源 D	6	/	7	/	△ 1	△ 14.3
実質収支(C-D) E	5,707	/	3,605	/	2,102	58.3
翌年度への繰越額	1,897	89.7	2,729	94.0	△ 832	△ 30.5
実質収支の赤字会計 (億円)	集落排水 老人保健 駐車場	△ 0.2 △ 0.9 △ 10.4	老人保健 駐車場	△ 3.2 △ 11.5		

3 企業会計

平成20年度企業会計決算では、4会計のうち、水道事業会計、交通事業会計及びコミュニティ・プラント事業会計の3会計が黒字となり、都市開発整備事業会計が赤字となった。

(1) 水道事業

(単位:千円)

区分	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	過不足
予算額(A)	10,846,932	10,711,041	135,891	4,528,399	7,521,359	△ 2,992,960
決算額(B)	10,265,485 (9,798,994)	9,891,519 (9,503,561)	373,966 (295,433)	3,423,010 (3,414,792)	6,366,903 (6,280,152)	△ 2,943,893 (△2,865,360)
(A)-(B)	581,447	819,522	△ 238,075	1,105,389	1,154,456	△ 49,067

(注) 決算額(B)欄の()内は、消費税及び地方消費税を除く額

(2) 交通事業

(単位:千円)

区分	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	過不足
予算額(A)	1,406,609	1,406,294	315	1,420	231,022	△ 229,602
決算額(B)	1,338,222 (1,311,604)	1,330,243 (1,303,527)	7,979 (8,077)	5,620 (5,353)	118,021 (118,021)	△ 112,401 (△112,668)
(A)-(B)	68,387	76,051	△ 7,664	△ 4,200	113,001	△ 117,201

(注) 決算額(B)欄の()内は、消費税及び地方消費税を除く額

(3) 都市開発整備事業

(単位:千円)

区分	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	過不足
予算額(A)	1,195,337	1,778,748	△ 583,411		163,766	△ 163,766
決算額(B)	781,140 (781,033)	1,368,346 (1,368,239)	△ 587,206 (△587,206)		89,268	△ 89,268
(A)-(B)	414,197	410,402	3,795		74,498	△ 74,498

(注) 決算額(B)欄の()内は、消費税及び地方消費税を除く額

(4) コミュニティ・プラント事業

(単位:千円)

区分	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	収支	収入	支出	過不足
予算額(A)	1,029,918	1,014,910	15,008	524,784	1,089,630	△ 564,846
決算額(B)	974,888 (961,408)	944,133 (908,478)	30,755 (52,930)	528,904 (528,904)	1,085,816 (1,085,676)	△ 556,912 (△556,772)
(A)-(B)	55,030	70,777	△ 15,747	△ 4,120	3,814	△ 7,934

(注) 決算額(B)欄の()内は、消費税及び地方消費税を除く額

4 基金・地方債

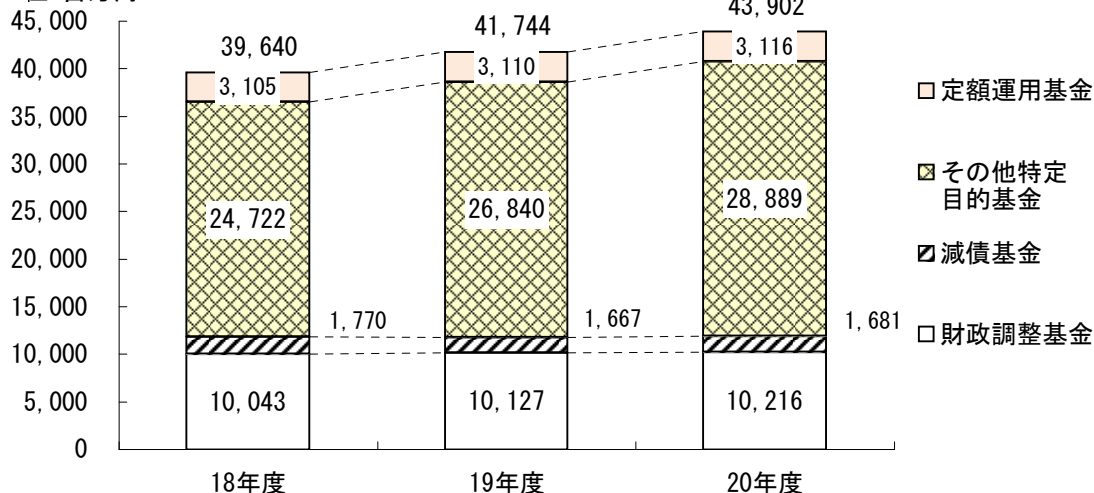
(1) 基金年度末現在高の推移(平成18年度～20年度)

基金の20年度末現在高は439億202万9千円で、前年度比 21億5,832万2千円の増となった。

(単位 千円)

区 分	平成18年度末現在高	平成19年度末現在高	平成20年度末現在高
財政調整基金	10,043,045	10,127,201	10,216,477
減債基金	1,769,820	1,666,363	1,680,621
その他特定目的基金	24,722,250	26,839,929	28,889,313
定額運用基金	3,104,862	3,110,214	3,115,618
合 計	39,639,977	41,743,707	43,902,029

41,744 位 百万円



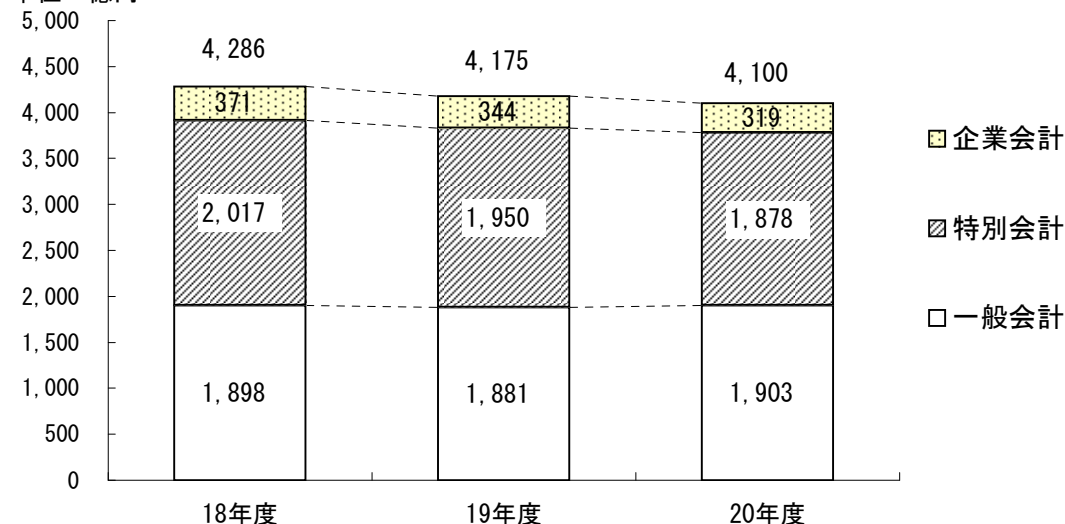
(2) 地方債年度末現在高の推移(平成18年度～20年度)

地方債の20年度末残高は企業会計も含めた全会計で、4,099億5,046万9千円と、前年度比75億5,947万円の減となった。

(単位 千円)

区 分	平成18年度末現在高	平成19年度末現在高	平成20年度末現在高
一般会計	189,841,894	188,091,077	190,309,722
特別会計	201,674,423	194,968,171	187,780,153
企業会計	37,085,834	34,450,691	31,860,594
合 計	428,602,151	417,509,939	409,950,469

単位 億円



5 財政健全化指標

【健全化判断比率】

(単位 %)

分析項目	20年度	19年度	早期健全化基準	財政再生基準	説明
実質赤字比率	—	—	11.25	20.00	<p>普通会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率</p> <p>(算式)</p> $\frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$
連結実質赤字比率	—	—	16.25	40.00	<p>全会計を対象とした実質赤字(又は資金不足額)の標準財政規模に対する比率</p> <p>(算式)</p> $\frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$
実質公債費比率	11.2	11.0	25.0	35.0	<p>全会計に一部事務組合等を加えた会計が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率</p> <p>(算式)</p> $\frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{(\text{標準財政規模} - \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})} \times 100$ <p>()内は単年度の実質公債費比率</p> <p>の3年度間の平均値</p>
将来負担比率	102.5	104.9	350.0		<p>地方公社・第三セクター等を含む会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率</p> <p>(算式)</p> $\frac{\text{将来負担額} - (\text{充当可能基金額} + \text{特定財源見込額} + \text{地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額})}{\text{標準財政規模} - (\text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})} \times 100$

※総務省提出数値による

※実質赤字額及び連結実質赤字額がない場合は、「—」と記載している

※標準財政規模は、臨時財政対策債発行可能額を加えた額

【資金不足比率】

(単位 %)

分析項目	20年度	19年度	経営健全化基準	財政再生基準	説明
資金不足比率					
【法適用企業】 (水道事業会計) (交通事業会計) (都市開発整備事業会計) (コミュニティ・プラント事業会計)	—	—	20.0		<p>公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率</p> <p>(算式)</p> <p>【法適用企業】</p> $\frac{\text{資金の不足額}((\text{流動負債} + \text{建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高} - \text{流動資産}) - \text{解消可能資金不足額})}{\text{事業の規模}(\text{営業収益の額} - \text{受託工事収益の額})} \times 100$
【法非適用企業】 (中央卸売市場事業特別会計) (下水道事業特別会計) (集落排水事業特別会計) (食肉センター事業特別会計)	—	—			<p>【法非適用企業】</p> $\frac{\text{資金の不足額}((\text{繰上充用額} + \text{支払繰延} \cdot \text{事業繰越} + \text{建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高}) - \text{解消可能資金不足額})}{\text{事業の規模}(\text{営業収益に相当する収入の額} - \text{受託工事収益に相当する収入の額})} \times 100$

※総務省提出数値による

※資金不足が生じない場合は、「—」と記載している

6 普通会計財政分析表

(単位 %)

分析項目	20年度	19年度	18年度	算 式
財政力指数 ()内は単年度の財政力指数	0.897 (0.893)	0.881 (0.915)	0.849 (0.882)	$\frac{\text{単年度財政力指数}}{\left(\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}} \right)}$ の3年度間の平均値
経常一般財源比率 ()内は減税補てん債を経常一般財源収入額から除いた比率	100.7 (100.7)	99.1 (99.1)	103.2 (102.5)	$\frac{\text{経常一般財源収入額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$
経常収支比率 ()内は減税補てん債を経常一般財源収入額から除いた比率	84.5 (84.5)	85.5 (85.5)	80.0 (80.6)	$\frac{\text{経常経費充当一般財源}}{\text{経常一般財源総額}} \times 100$
実質収支比率	4.6	5.0	5.9	$\frac{\text{実質収支額}}{\text{標準財政規模}} \times 100$
公債費比率	11.3	11.7	12.6	$\frac{\text{地方債元利償還充当一般財源} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額算入公債費}}{\text{標準財政規模} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額算入公債費}} \times 100$
起債制限比率 ()内は単年度の起債制限比率	9.2 (9.1)	9.5 (8.9)	9.9 (9.7)	$\frac{\text{地方債元利償還充当一般財源} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額算入公債費} - \text{事業費補正に係る基準財政需要額算入公債費}}{\text{標準財政規模} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額算入公債費} - \text{事業費補正に係る基準財政需要額算入公債費}} \times 100$ の3年度間の平均値

※総務省提出の地方財政状況調査による

※標準財政規模は、臨時財政対策債発行可能額を加えた額

※経常一般財源収入額は、平成20年度及び平成19年度は臨時財政対策債、平成18年度は臨時財政対策債及び減税補てん債等を加えた額

※経常一般財源総額は、平成20年度及び平成19年度は臨時財政対策債、平成18年度は臨時財政対策債及び減税補てん債等を加えた額